



①希望ヶ丘公園内の壕(牧志)
希望ヶ丘公園内にある自然壕で入口は3カ所あります。写真は、なほテンプス館横の通り沿いにある入口で、道路拡張工事中に見えられました。



②てんぶら坂の壕(壺屋)
壺屋住民によって掘られ、1944年10月9日に完成した住民避難壕です。完成翌日、米軍による空襲(10・10空襲)にいましたが、千人余りが避難し助かったと言われています。「てんぶら坂」とは、戦後、壕の前の道に多くのてんぶら屋が建んでいたことから、このように呼ばれるようになりました。



③ことぶき山壕(田原公園内)
海軍廠部隊が地元住民を動員し、1944年8月から12月にかけて構築。山の形が寿の字に似ていたことから、日本軍がことぶき山と名付けました。地元ではカテーラムイと呼ばれていました。1945年6月4日に米軍との戦闘が始まり、6月7日からの米軍の激しい攻撃のためカテーラムイ帯が制圧。千人余りの日本兵や住民がいたと言われています。この壕を中心に各小隊ごとに陣地壕がありました。現在は内部の状況が悪く、安全のため公開されていません。



④旧海軍砲台跡(航空自衛隊基地内)
航空自衛隊那覇基地内の丘陵部の一角に、海軍の建設した小禄飛行場を守るための砲台が残されています。小禄飛行場は、民間人を徴用して建設されました。小禄飛行場跡地には、現在那覇空港が建設されています。那覇基地内に所在するため、見学するには航空自衛隊那覇基地の許可が必要です。

祝 那覇市・ホノルル市
姉妹都市提携50周年記念

訪問団大募集!

ハワイ親善交流の旅

～第28回沖縄フェスティバル参観と記念パレード参加!～

今年、那覇市とホノルル市は姉妹都市提携50周年の節目を迎えました。その50周年を記念して、毎年ハワイ州ホノルル市で開催される「沖縄フェスティバル」に、翁長市長が公式訪問します。あなたも、訪問団の一員として魅力いっぱいのハワイを訪れてみませんか。多くの市民のみなさまのご参加をお待ちしています!

●主な内容

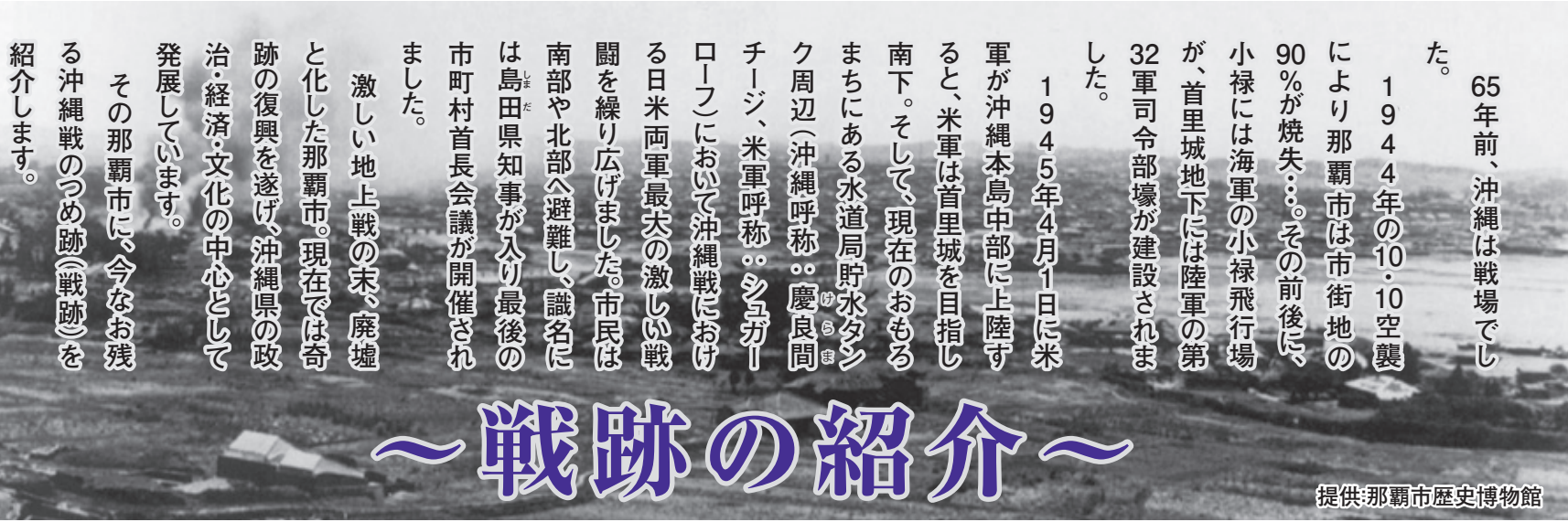
・出発日：9月2日(木) 午前または午後
・旅行期間：9月2日(木)～7日(火)※4泊6日
・第28回沖縄フェスティバル：9月4日(土)～5日(日)
※記念パレード：9月4日(土)
旅行代金、観光などについては、下記の旅行会社へお問い合わせください。

●取扱旅行業者

国際旅行社	☎864-5931
エア沖縄	☎863-8010
沖縄ツーリスト	☎862-1111
JTB沖縄	☎864-1321
エアエクスプレス	☎852-0035
セルリアンブルー	☎941-6828
リウボウ旅行サービス本店	☎860-3232

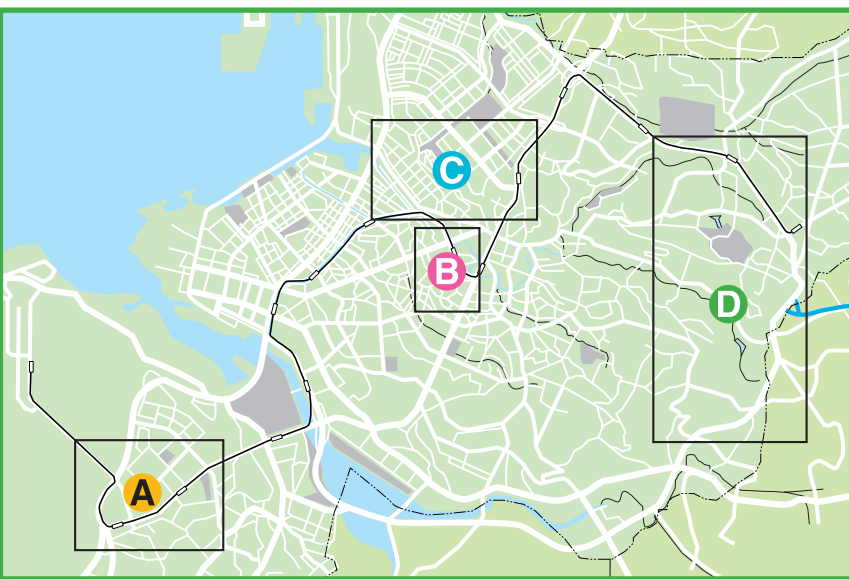
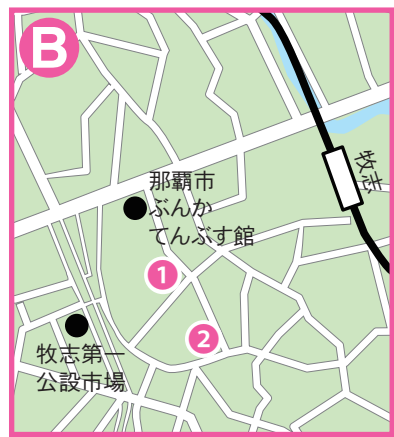


お問い合わせ 平和交流・男女参画室 ☎861-5195



～戦跡の紹介～

提供：那覇市歴史博物館



⑤シュガーローフ(安里・慶良間チージ)
沖縄戦における最大の激戦地のひとつ。日本軍では「すりばち丘」、米軍ではその形から「シュガーローフ(砂糖菓子)」と呼ばれていました。1945年5月12日から米軍と1週間に渡る激戦が繰り広げられ、5月18日に米軍が制圧。日本軍、米軍、住民に多数の死傷者を出しましたが、特に米軍は死傷者2,662人と大打撃を被りました。



⑥泊小学校旧校舎(泊)
シュガーローフ周辺の激しい戦闘があった中で、戦前の旧校舎がかろうじて残りました。現在は、校舎敷地内に旧校舎の一部を保存しています。



⑩忠魂碑(首里城公園内)
守礼門から歓会門へ向かう城壁側に建つ忠魂碑。戦前からあったもので、砲弾により破壊され文字も読めません。首里への攻撃が激しかった事を物語っています。



⑫第32軍司令部壕付近のトーチカ(陣地)跡(首里城公園内)
首里城地下に沖縄戦を指揮する第32軍司令部壕が構築されました。当時の入口は、5カ所確認されています。内部は地盤の弱さから崩落が進み、保存・公開が難しい状態。写真は、園比屋武御嶽石門から龍潭へ下る道の左側にあるコンクリート製のトーチカ跡。道を挟んだ反対側にも「第32軍合同無線通信所跡」と示されたコンクリート製トーチカが見られます。



平和ガイドの紹介

戦跡地のガイドや、戦争体験者の体験談など平和について学びたい場合は、下記のボランティア団体を利用できます。(有料)

・沖縄県観光ボランティアガイド友の会

お問い合わせ 沖縄県観光ボランティアガイド友の会 ☎856-6441



「私達がガイドします」



⑦元県立博物館の石垣(首里当蔵町)
戦前は中城御殿の石垣。元県立博物館入口の右側の石垣には、沖縄戦の弾痕がいくつも残っています。



⑧沖縄師範学校の門柱(首里当蔵町)
円覚寺前から龍潭へ向かう道の右側(県立芸術大学敷地内)にあります。砲弾により破壊されたが、師範学校跡の記念碑建立の際に復元されました。当時の建材を使用しており、沖縄戦時の弾痕を見ることができます。



⑨園比屋武御嶽石門(首里当蔵町)
戦争中に一部破壊されたが、1952年に復元されました。現在は世界遺産群の一つです。復元建造物が世界遺産に登録された理由として、園比屋武御嶽石門の右側上部の一部は、破壊前の建材を使用しており、可能な限り破壊前の状態に戻したことがあげられます。貴重な文化財が戦争によって破壊された悲しさを見ることができます。



⑪首里城 トーチカ(陣地)跡(首里城公園内)
首里城公園大型バス駐車場入口から守礼門へ向かう道の右角にあるトーチカ跡。園比屋武御嶽石門の下側にある第1坑道と繋がっていたとの証言もあるが、調査が進んでいません。



⑬県庁壕(真地)
識名霊園内にある自然壕で、当時の島田県知事が避難し、最後の市町村首長会議が行われたことから県庁壕と呼ばれています。

終戦記念日特集

平和祈念と平和学習のための那覇市内戦跡マップ

